

Kiwi Report

第1号 2017/2/8

2月6日（月）

◆湧別町出発 ～ 成田空港

家族をはじめたくさんの方々に見送られ、湧別町を出発した、生徒・9名、大人・5名の一行。女満別空港へ向かうバスの中で心境を聞いてみると…、案外、緊張していない様子。でも、元気がないぞ！



女満別空港出発前に

女満別空港を飛び立ち、羽田空港に到着。それぞれが昼食へ。何を食べたのか聞いてみると、男子はラーメン、女子はそばやうどんを食べたとか、なぜかと言うと、しばらく麺類がお預けになるからということでした。

羽田空港からリムジンバスを乗り継ぎ、日本の空の玄関口成田国際空港に到着。初めて訪れる場所に上を見上げてばかり。 空港にはたくさんの外国人が…自動チェックイン機で四苦八苦しながら搭乗手続きを終え、セキュリティチェック、出国審査を通過し、搭乗口へ。湧別を出発してここまで約11時間、夕方6時30分、定刻でニュージーランドへ飛び立ちました！



羽田・成田空港にて

◆国際線の機内

離陸から数時間、お腹がすいてきた時間。しかし気流が安定せずに、機長からしばらく機内サービスを制限するとのアナウンス。女の子たちは搭乗前に腹ごしらえをしていたのでラッキー。男の子たちはご飯食べてなくて・・・I'm hungry. (泣) 午後10時頃、やっと機内食の案内。事前研修で教わったとおり、「フィッシュ」or「ビーフ」の問い合わせには難なく答えていました。ちなみに朝食は「フィッシュ(シャケ)」or「エッグ」でした。機内では、音楽を聴いたり、映画やゲームを楽しんだり、結構揺れる機内の中でNZまでの長い時間を過ごしていました。

2月7日(火)

◆NZ入国！ オークランド国際空港到着

機内でひと晩を過ごし、毛利さんや佐藤友子さんはぐっすり眠れたようでしたが、あまり眠れなかった生徒が多かったようです。飛行機は定刻から少し遅れて午前9時25分(日本時間は朝5時25分)にオークランド国際空港に到着。いよいよ本格的な英語の始まり…、まずは入国審査。特に難しい質問をされることなく通過すると、スーツケースを受け取り、次は検疫。ここがとても混雑。なぜかと言うと、NZは3連休明けで、しかも到着した時間帯がモーニングティの時間ということで職員がお茶の時間で手薄な状態・・・検査官の「食べ物を持っているか」などの質問にも想定問答どおりに対応し、到着ロビーで待つ現地ガイドさんと合流できました！検疫での混雑のせいで、乗り換えは時間がなく、慌ただしい移動となりました。

この日のオークランドの気温は21℃！！ 澄み渡るような青空！ 夏です！

◆クライストチャーチ国際空港到着！

クライストチャーチ国際空港へ。無事に到着すると、ダーフィールドハイスクールの早川すみ先生がお出迎え！すみ先生から「みなさん、ようこそ、ニュージーランドへ」と歓迎のあいさつを掛けられ、生徒達は笑顔で答えていました。オークランドとは一転。クライストチャーチは13度と肌寒く、半袖ではいられないような空気でした。ここでハプニングが発生！！ オークランドで預けたはずのスーツケースが届かず、ロストバッゲージ。航空会社の担当者曰く、次の便で届くことなので、6ドルのクーポン券をもらって昼食を食べながら空港で1便分待ちましたが、次の便で着いたのは4個のみ。また次の便に変更になるとことでしたので、とりあえず先に動物公園に行くことにしました。



クライストチャーチ到着！

◆ウィローバンク動物公園を見学

ここでは、NZの国鳥・キウイをはじめ、NZ固有の鳥類が見学できる動物公園。キウイは目が弱いため、施設内を真っ暗にして飼育されているのですが、中に入つてから時間が経つにつれて徐々に目が慣れ、何かがカサカサと歩いている様子。じっくり目を凝らしてみると、飛ばない鳥・キウイを見ることが出来ました。



◆いよいよダーフィールドへ

ウィローバンク動物公園を見学したあと、再び、クライストチャーチ国際空港へスーツケースを受け取りに行くと、まだ届いていないこと。いつになるかわからないので、ホームステイ先に届けてもらえるように交渉して、ダーフィールドへ向かいました。ここから時速100kmで30分ちょっとの道のり。バスが都市部から農村部にはいると、早速たくさんの羊が放牧されている光景に、一同が「あー」と声を上げニュージーランドに来たことを実感したようでした。

予定から1時間遅れの17:30に、やっとダーフィールドハイスクールに到着。学校の正門前でジェームス校長先生が出迎えてくれました。いよいよホストファミリーとの対面！

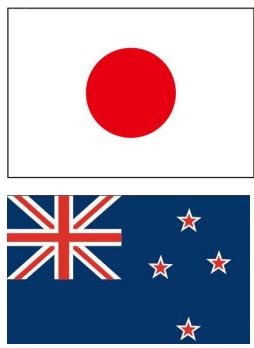
対面式が行われるホールにはたくさんの方々が待っていて、誰が誰のホストなのか、生徒達も不安そうな表情…、早速、ジェームス校長先生から歓迎のあいさつを受けたあと、国際交流部長のニコラ先生から一人ずつ名前を呼ばれ、ホストとの対面。生徒たちが緊張した面持ちで用意してきた自己紹介スピーチを読み上げると、ホストから握手を求められ、長旅の疲れを見せることがなく、ホストと家路に着きました。さあ、いよいよ英語だけの生活です！オリバー先生との研修の成果を発揮してがんばりましょう！

それにしても、スーツケースが届かなかつたことがショックです。

ホストファミリーと対面！







Kiwi Report

第2号 2017/2/9

2月8日（水）

◆ダーフィールドハイスクール職員室にて

今日は今朝から雨、天気予報では一日曇り、予想最高気温は15度です。ダーフィールドハイスクールでの1日目がスタート。引率が登校すると、スタッフに呼び止められ、「スーツケースが届いてるよ」と朗報！ まずはひと安心。

職員室で、ジェームズ校長先生から湧別との交流経過、位置、産業、ジェームズ校長先生の湧別でのエピソードなどがスタッフに紹介され、訪問団引率の黒岩団長、毛利委員、斎藤、一般参加の佐藤友子さん、野田知里さんが紹介されました。続いて、訪問団を代表して黒岩団長があいさつ！ カンペを見ずに、スラスラとスピーチする団長、しかし、少しの間が空く、、、何とぞ忘れ。ですが、事前研修の成果で何とかクリア！ 先生たちから拍手で歓迎を受けました。

◆8:45 生徒たちが登校

図書館に生徒が登校してきました。スーツケースが無事に届いていることを伝えると、安心した様子でした。昨日の様子を聞いてみると、「何とかなるよ」、不便はないかとの問い合わせには「今のところ順調」との答えが、、、子どもたちのたくましさと、ホストの気遣いを感じました。

◆9:00 オリエンテーション

本日最初のプログラムは、国際交流部長のニコラさんからニュージーランドの基礎知識、セルウィン町やダーフィールド・ハイスクールのこと、学校内やホームステイでのルール、滞在中のプログラムや持ち物についての説明を受けました。

ニコラ先生は、日本に20回ほど来たことがあるそうで、東京や愛知でホームステイの経験があり、とても日本語が堪能な方で、やさしい英語と日本語を交えて丁寧に説明してくれました。

先生から「積極的に手を挙げてください。」と言われる場面もありましたが、徐々に手が上がるようになってきました。

◆11:25 マオリの授業

マオリの授業はウイリアム先生。いかにもマオリの血を受けついで立ち。「マオリ」は、ニュージーランドの先住民族で、独自の文化を持っていて、生徒たちはマオリのボーンカービングに挑戦！ ボーンは骨、カービングは彫刻で、伝統工芸です。授業では本物のボーンの代わりに石鹼を代用。彫刻等を手に細かい作業に生徒も大人も真剣な表情。削りすぎたり、なかなか上手くいかないこともありましたが、先生の指導のもと完成させることができました。



◆12:25 日本語クラスに参加

昼食前の授業は、早川先生が担任するクラスの授業に参加し、日本の伝統の遊びで交流しました。はじめはニュージーランドのことや日本のことをお互いに質問、ダーフィールドハイスクールの生徒には「P P A P」が人気のようでした。

伝統の遊びでは、けん玉、福笑い、お手玉、折り紙、だるま落としなどで交流。大人のグループはいろいろかるたを担当！生徒たちも遊び道具を使いながらなので、うまく英語で伝えられなくともお互いが盛り上がって交流を深めていました。



◆14:15 ダーフィールドの街を散策

午後からは国際交流部のサラさんの案内で、ダーフィールドのメインストリートを散策！メインストリートには、カフェ、レストラン、郵便局、ホテル、ガソリンスタンド、歯医者、幼稚園、すし店、ベーカリーショップなどが並び、サラさんから人気のお店を紹介され、生徒たちは「工藤柊翔くん」が話していた、美味しいミートパイの話を思い出し話していました。



◆下校

ダーフィールドハイスクールでは一日の授業が終わると、日本のように掃除や部活がなく、一斉に下校！ 学校裏手の専用駐車場には、およそ10台のスクールバスが並んでいて、地区ごとに上級生が点呼。乗車確認が終わったバスから順次、出発。授業が終わった15分後には一斉に生徒たちが下校し、学校は静まり返っていました。

今日はスーツケースも手元に届いて、ホストへお土産を渡すことができ、話が盛り上がる夜になりました。ホームステイでの2日目の夜を迎えます。

その2 大人のみ

◆18:00 歓迎夕食会

この日はセルウィン友好協会が主催する歓迎夕食会に招待を受けました。

夕食会の会場は、友好協会の会長を務める、元ダーフィールドハイスクール校長のアリソンさんのお宅のお庭でBBQスタイルのパーティーでした。集まった面々は、アリソン前校長先生夫妻、ケルビンコウ前町長夫妻、マグフォード議員夫妻、ジェームス校長夫妻などなど総勢20名。アリソンさんの歓迎の挨拶に続いて、黒岩団長がスピーチ！ ※今度はカンペがあったので、止まりませんでした。

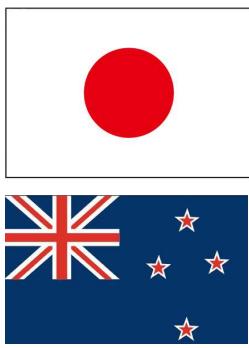
黒岩団長のスピーチには、湧別町とセルウィン町の交流のきっかけを作ったことへの敬意と訪問団に対する心温まるおもてなしに対する謝意が伝えられ、団長の挨拶に続いて、毛利委員、佐藤さん、野田さんがあいさつしそれぞれの思いを丁寧に伝え、なかでも佐藤友子さんはカンペ無しの単語英語でスピーチし、場を和ませてくれました。訪問団の挨拶に続いて、同席したセルウィン町の皆さんから湧別町を訪れたときの思い出やエピソード、湧別訪問を実現できなかった残念な気持ちを交えて一言ずつあいさつ。交流の深まりを感じさせてくれる時間となりました。

夕食会はそれぞれの手料理を持ち寄り、メインディッシュはアリソンさんの旦那さん、ポールさんが数日前から仕込みをした「牛の蒸し焼き」、あっと言う間に売り切れ、とても美味しい一品でした。

湧別の訪問団も身振り手振りで、ときには冗談を交えながら話は尽きなく、お互いの町が広げてきた年輪を感じられた時間でした。午後9時を過ぎ辺りが暗くなったところで、記念撮影。名残は着きませんでした。最後にアリソンさんから湧別の皆さんに見せたいものがあると声をかけられ、湧別から贈られた絵織物などを見せてくれ、「今日は楽しい日になった」と話していました。



友好協会主催の夕食会で皆さんと



Kiwi Report

第3号 2017/2/10

2月9日（木）今日は源也のバースディ！

◆8:45 生徒たちが登校

中高生の皆さんとホストと一緒に登校してきました。昨日、スーツケースが届き、ホストへ用意してきたお土産を渡すことができて、大変喜んでくれたようです。昨日、ホストと一緒に何をしたか聞いてみると、「家の周りを探索したりタッチラグビーをした。」「バディと日本とニュージーランドの質問をした。」「テレビを見て、お話をした。」「地図で湧別町の場所を教えたりした。」「ホストが習っているカンフーを行った。」「親戚がたくさん来て、いろいろなお話をした。」「子どもたちとトランポリンで遊んだ。」「近くのスーパーに買い物に行った。」などなど。そして、少しづつ耳が慣れてきて、何とかわかるような気がするとの話も、、、湧別を離れて4日目、そろそろ慣れてきた頃であり、疲れも出る頃でしょうか！？

◆9:00 ESOLのクラスへ（留学生のための英語の授業）



1～2時間目は ESOL の授業に参加。担当はロジャー先生。でも都合により遅れるということで、サラさんと連想ゲームでリラックスタイム。お題は「好きなニュージーランドの食べ物（食卓に出たもの）」、サラさんのローストチキンから始まりキーウィフルーツ、ポテト、フィッシュ&チップなどと順調につなげ、最終はアプリコットで見事完成、サラさんが「パーフェクト！」と褒めてくれました。

ロジャー先生が到着し、ニュージーランドのあいさつ、アクティビティ、地名の説明など英語での授業を受け、聞き取れた部分には「うなずき」、聞き取れなかった部分は無反応でしたが、少しづつ英語に慣れてきている様子が感じられる時間でした。

授業の最後には、サラさんが用意してくれたバースディーマフィンと、みんなからのバースディソングで誕生日の源也くんをお祝いしました。



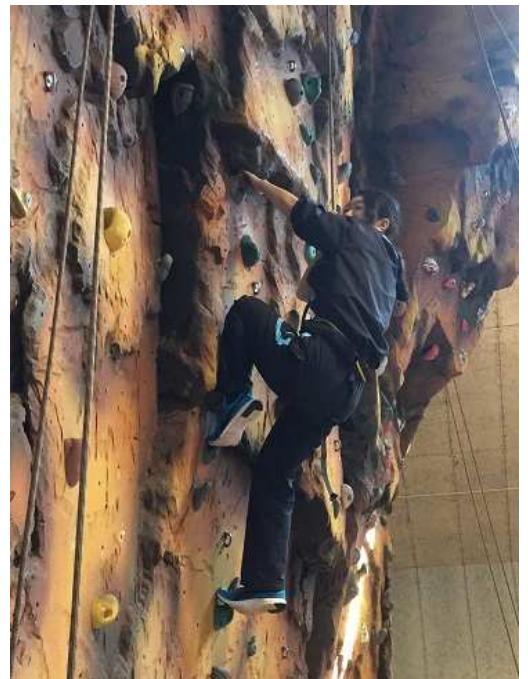
◆11:25 バディのクラスへ

3～4時間目は、ホームステイや学校でお世話係りを務めてくれている「バディ」の生徒のクラスでの授業。通常どおりの授業でしたので、湧別の生徒たちにはずいぶんと難しい内容だったようです。また前日天気が悪く中止となった水泳大会が行われ、出場するバディの応援に行つた生徒もいたりと、学校での時間を過ごしました。

◆14:15 ロッククライミングに挑戦

ダーフィールドハイスクールの体育館にはロッククライミングの施設が整備されていて、施設は下から見上げると、そびえ立つような迫力。担当のディックケン先生から事前の指導を受け、生徒たちは一人ずつ挑戦。コースは優しいから難しいまでの5コース。女子は苦戦する中、菜々子さんは一番高いところを制覇！ 先生からパーカクトの声！ 男子ではさすがに高校3年生の2人が存在感を発揮。中でも源也くんは一番難しいコースをクリアし女子からも拍手！

今日はやっぱり、お誕生日の源也デー！



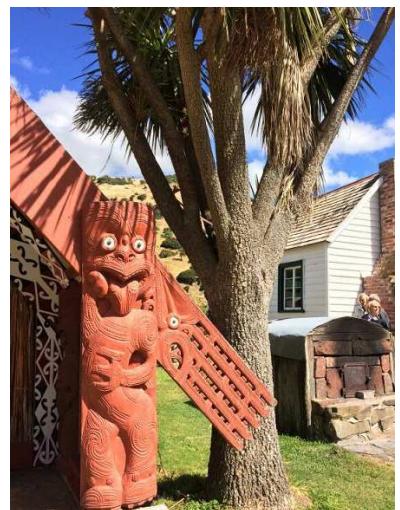
◆15:15 DHS 下校

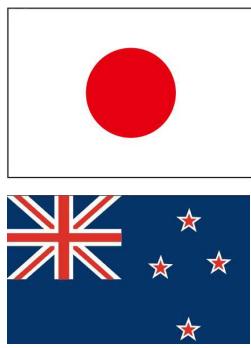
今日の授業も終了し、ダーフィールドでの3日目の晩を迎えます。この時期のニュージーランドは午後9時過ぎまで明るいので、外で活動するにも、ホスト宅へ戻ってからもたっぷり時間があります。うまく交流できているのか、湧別の夜とは違った感覚に体調を崩さないのか、心配している引率者でした。

その2 一般

◆アカロア見学

今日の一般派遣者及び引率2名は、中高生とは別行動でアカロア見学に行きました。セルウィン町友好協会の方たちがニュージーランドの綺麗な景色を見もらおうと、連れて行ってくれました。アカロアはダーフィールドから約2時間ほどの小さな港町で、フランス系移民が開拓したニュージーランドでも人気の場所です。また、チーズ工場や美味しいフィッシュ&チップスが食べられることでも有名です。今日は、マオリミュージアムも見学してきました。





Kiwi Report

第4号 2017/2/13

2/10 (金) 曇り 予想最高気温は21度

◆8:45 生徒たちが登校

ダーフィールドで4日目の朝、学校の国際課スタッフルーム前で待っていると…、途切れることなく生徒が教室へ向かっていきます。そこに紛れてバディとともに湧別町の生徒も登校、この2、3日、見なれた光景です。

生徒たちもお疲れ気味のようで、なかなか思い通りに行かずにストレスが溜まっている様子。口を開けば愚痴！？ 日本のよさ、親のありがたみが身にしみているのかも、、、「習慣が違うからすべてがうまくいくわけではないよ。これも経験だよ」と言い聞かせ、今日も一日楽しもうと声をかけ授業へ向かいました。

◆9:00 ESOLの授業

昨日に引き続き、ロジャー先生の英語の授業。ロジャー先生はとても優しく教えてくれ、しかもユニーク。英語の発音の仕方、口の開き方、強弱について学びました。先生は、RやLの発音をイラストを書いて説明してくれたり、イントネーションを波長で説明してくれました。

またニュージーランドで盛んなスポーツのラグビーやクリケット、ホースレース、セーリングなどをジェスチャーを交えて説明し、そのスポーツの部分的なイラストを見せて何のスポーツをしているのか、なぜそう思ったのかを英語での説明するゲームを男女対抗で実施！結果は男子チームの勝利でした。

ユーモアを交え、楽しく英語を学べた授業となったようです。ロジャー先生からダーフィールドハイスクールと自分の学校の違いを4つ探してまとめて来るよう宿題が出されたので、週末は少し勉強が必要なようです。ロジャー先生の授業は来週火曜日！



ロジャー先生との授業

◆11:00 バディとモーニングティ

生徒たちにもすっかり定番となったニュージーランドの文化「モーニングティタイム」。今日もバディとクッキー やクラッカーを食べながら、お茶の時間を楽し みます。お茶の時間をおしゃべりで過ごした生徒た ちは、そのまま一緒に授業へ向かいました。



◆12:25 調理実習 ニュージーランドのビスケット作りに挑戦！

ビスケットは、「ANZAC」といって、Aはオーストラリア、NZはニュージーランドを意 味するとのことで、双方の軍隊が食べるため焼いたビスケットだそうです。講師はサラさんで、毛利委員、佐藤さんと野田さんも加わりクッキングタイム。レシピに添って材料を計り混ぜ合わ せ形を整えオープンへ・・・甘~い香りが教室に立ち込め、なかなかの出来栄えでした。



◆14:00 ダーフィールド小学校訪問

午後からはダーフィールド小学校で年長5歳児のピコピコ組で折り紙やケン玉など日本の伝 統の遊びで交流。最初に全員から簡単な自己紹介をしました。日本語クラスで実施したように、 グループに分かれてさっそく交流を始めましたが小さい子相手のため、なかなか思うように伝わ らなかったようです。でも、笑顔とジェスチャーで交流を深めました。



◆15:15 下校

さて、明日からはホストとの週末です。週末のホストとの過ごし方、パスポートチェック、よさこいと湧別町の紹介を練習することを伝え、家路につきました。

ホストそれぞれが何かしらの楽しみを用意してくれているはず、月曜日の朝、生徒達からどんな様子だったのか、聞くのが楽しみです！



その2 一般&引率

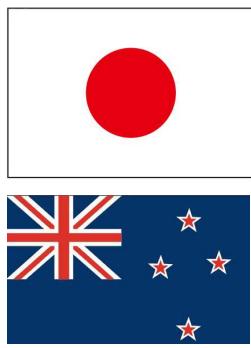
今日の午前中は、黒岩団長と毛利委員、佐藤さん、野田さんは、マルバーンコミュニティボード（議会）の方々とダーフィールドのハチミツ農園を視察に出かけました。

たくさんの蜂が飛び交う中、車内からプロポリスや、作業風景を丁寧に見せてもらい、蜂蜜の味見もしてきたようです。とっても、おいしかったそうです。

ニュージーランドの蜂蜜には、クローバー蜜とマヌカ蜜があるそうで、今日見学させてもらった農園は主にクローバー蜜をとっているとのことでした。蜂が蜂蜜と蜂蜜を蓋するオイルの2種類の液を出すことや、一匹の蜂がつくる蜂蜜はティースプーン1杯程度だと言うことなど説明していただきました。学ぶことがたくさんだったみたいです。



大人もここでの生活に慣れてきて、耳も英語に慣れてきて、ホストファミリーともコミュニケーションが取れるようになりました。とても楽しく過ごしています。佐藤さん、野田さんの家の今日のディナーはラム！とっても、美味しかったようです。



Kiwi Report

第5号 2017/2/14

2/13 (月) 予想最高気温は22度

夜中に少し雨が降りホストに「雨が降ったね」と言うと、「まだ足りないんだよ。」との返事が。しばらくまとまとった雨が降っていないため、芝生は黄色に焼けたようです。

◆8:45 登校

湧別を出発してから1週間が過ぎ、そろそろ日本食が恋しくなってきたかな…!? 週末のカンタベリーは、天気が良く暖かい日でした。ダーフィールドで初めての週末。週末に入る前、うまく過ごせるのか心配だった生徒もいて、どう過ごしたのか、ホストとお出かけしたり、リフレッシュできたのか、日焼けをしたのではないかと、何か気掛かりでしたが・・・。

ダーフィールド滞在6日目、いつもより早めに図書館で生徒たちを待っていると、生徒たちは元気に登校。週末、何をしたのか、生活の様子を尋ねてみると、

○丸山恭吾くん～リテルトン湖を一望できる丘を散策して、滝を見学
→この場所が本人に場所を聞いてもわからないとか…

○鈴木源也くん～家のお手伝いで芝刈り、クリストチャーチでお買い物

○竹内友美さん～プールで遊び（とても寒かった）、ラカイヤ川でジェットボード

○菅原美優さん～クリストチャーチのショッピングモールでお買い物、ホストブラザーのクリケットの試合を応援

○佐藤 涼くん～クリストチャーチのビーチで海遊び、教会の集まりに参加した

○遠藤桃歌さん～ラカイヤ川を散策して景色を楽しんだ

○三室 萌さん～アイススケートのリンクでスケートを楽しみ、ホストと一緒に家事を手伝い

○金川菜々子さん～Mt.サマーズを散策し山登りを楽しむ。クリストチャーチのショッピングモールでお買い物

○山田彩華さん～クリストチャーチのショッピングモールでお買い物。クリストチャーチの中心地の追憶の橋を見学

○一般&引率者～マルバーン議会のメンバー、コウ元町長の案内で、植物観察や山歩きなど自然探索、アーサーズパスを見学



なんとも、みんな、楽しい週末を過ごしたようです。良かったね！週末に入る前の顔とは全然違う、リフレッシュできたようでいい顔をしていました。

◆9:00 今日はデイツア。あいにくの雨、降ったり止んだりぐずついた天気。コリンさんが運転するバスに乗り込み、一行はキャッスルヒルへ向かう。バスは、道幅の狭い道路を100km以上で、バスなのに…。

去年、湧別中学校に留学していたハナコさん、涼、友美、彩華のバディも一緒です。そして心強いパートナーとして、5年前に湧別町に留学経験のあるエリカさんが通訳を担当！エリカさんはカンタベリー大学の3年生になるそうです。

すみ先生の案内でキャッスルヒルを散策、ここでは日本映画の「どろろ」など数多くの映画が撮影されているところで、一面、グリーンのフィールドに岩だらけ、生徒たちは週末の出来事を話ながら、ちょっとした息抜きの時間となったようです。今日は毛利委員、佐藤友子さん、野田知里さんも一緒なので、とても賑やか。毛利さんと佐藤さんがお母さんのようで、生徒たちは元気をもらっているようにも感じましたよ。あいにくの天気で十分に散策できなかつたのが残念でした。



◆ルビコンファームへ

キャッスルヒルの後は、ルビコンファームへ移動。ルビコンファームの主は、「クリスさん」。元警察官の牧場主です。

到着後、さっそくお楽しみのジェットボート！ ワイマカリリ川の水は、エメラルドグリーンで何とも言えず素敵でした。ドライバーによると、この日の水温は10度、ボートは

徐々にスピードを上げ、水しぶきを上げながら急ターン！生徒たち

はとてもうれしそうに歓声を上げ、ジェットボートの迫力を満喫！「もう1回！」とターンをリクエストするとドライバーもニヤニヤしながらボートを急旋回させて楽しませてくれました。すみ先生曰く、いつもは20分のところを30分も走ってくれ、とてもラッキーだよとのことでした。



昼食は、ソーセージ、ラムのハンバー
ガーとポテトにサラダで腹ごしらえ。食
事のあとは、ファームショー。牧羊犬が
羊を追い込む様子を見学、一人前の牧羊
犬になるには2年が必要とのことで、こ
の日姿を見せた牧羊犬は、先代が亡くな
ったので、修行中とのことでした。また、
この牧場に飼育している羊は3千頭で5
頭の牧羊犬で管理しているとのことでした。



続いては毛刈りショー。クリスから「こ
のバリカンは良く切れ、すぐに丸坊主にできる」とお約束のネタ。生徒一人ずつ大きなはさみを
手にして毛刈りを体験しました。



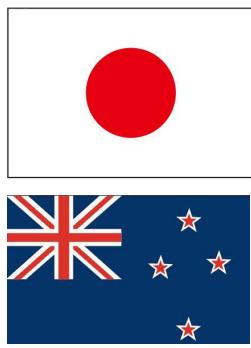
次は乗馬体験。7人ずつ2組に分かれて挑戦。クリスから馬はナーバスなので、周りでは大き
な声を出さないよう注意を受け、ヘルメットを被り、少しひびりながらも馬にまたがり、さあ出
発。15分ほどのコースをひと回り。後半は慣れた様子で
手綱をしっかり引き乗馬を楽しんでいました。残念なが
らここでも雨の影響で後半のグループは時間を短縮して
の乗馬となってしまいました。

◆16:30 ホスト宅に帰宅

楽しかったディツアーを終え、学校に戻ると。ホスト
の車が迎えに来ていた、それぞれが家路に。今日一日、

あいにくの天気でし
たが、外で過ごしたた
め、今晚はぐっすり休
めそうな生徒たちで
した。日焼け止めは塗
っていたのかなあ… ルビコンファームから帰るバスの中
は、毛利委員と佐藤友子さんの笑い声で賑やかでした！





Kiwi Report

第6号 2017/2/15

2月14日（火） 今日も天気が良く、最高気温は23度 バレンタインズデー！

朝のニュースでは、クライストチャーチで発生した山火事のニュースが伝えられています。カンタベリー地方では雨が少なく乾燥していて、この数週間で山火事が多発しているとのこと。この影響で東西の海岸線を結ぶ鉄道も数日間ストップしているとか。



◆8:30 登校

ダーフィールドで迎える8日目の朝。国際課スタッフルーム前で待っていると…、途切れることなく生徒が教室へ向かっていきます。毎日変わらず、見なれた光景。研修終盤ですが、今日は歓迎集会に続いて、セルウィン町長の表敬訪問に出発します！

◆8:45 E S O L の授業

先週に引き続き、ロジャー先生の英語の授業。宿題はやって来たのかな。まずは、先週の Kiwi word の復習からスタート！kiwi word と同じ意味を持つ英語を答える問題から復習。恭吾と友美がロジャー先生からの問い合わせに答えると、「パーフェクト」とお褒めの言葉！ very good !

生徒たちへ熱心に、伝えようとしてくれるロジャー先生に感謝です。明日も2時間、ロジャー先生の授業があります。わたしも楽しみな授業のひとつで、ロジャー先生が生徒たちへ伝えようとする努力と行動と言葉が生徒たちに伝わればと期待していました。

◆9:45 歓迎集会

ダーフィールドハイスクールでは毎週火曜日に中等部と高等部に分かれての集会が開催されていて、派遣団は中等部の集会に出席しました。

ジェームス校長先生からの歓迎の言葉、湧別町との交流の経過、工藤柊翔くんが交換留学生としてダーフィールドハイスクールで過ごしたこと、ハナコさんが湧別中で過ごしたことなどが紹介され、続いて、黒岩団長と、生徒を代表して丸山恭吾くんがあいさつしました。何かいつもと違う、大人に見えた恭吾くんでした。

続いて、昨年、湧別中に留学したハナコさんから、



湧別での思い出やホストファミリーが良くしてくれたこと、日本が好きなことなどが話されました。

次は、湧別町のプレゼンテーション。最後の事前研修からしばらく時間が経っているので、元気にできるのか心配でしたが、マイクを使ったこともあり、会場にいた生徒たちには伝わったようでした。でも、もう少しゆっくり強弱をつけながら話せると、よかったかな。事前研修から準備してきた、ひとつの大役を終えた生徒たちは次の任務、表敬訪問に向かいました。



◆11:00 セルウィン町長を表敬訪問

セルウィン町役場に向かう途中、クラーストチャーチ方面から大きく立ち上る煙り。運転手のコリンさんから昨夜からの山火事の被害状況についてアナウンスがあり、住宅まで延焼したことや消失した山林の面積について説明があり、改めて山火事被害の大きさを感じました。

セルウィン町の庁舎に到着後、プロウトン町長やギャラハーコミュニティボード議長の出迎えを受けた私たちは、プロウトン町長から山火事の発生でセルウィン町にも災害対策本部が設置されていることを知られ、いつものように議事堂で迎えられないことへの謝罪と、セルウィン町の地勢、面積、人口についての説明がありました。そして、「湧別町とのセルウィン町の町民がお互いのことを勉強して、皆さんがセルウィン町で知り得たことを皆さんの中に戻って伝えてください。」とあいさつがありました。

歓迎のあいさつに続き派遣団を代表して、黒岩団長と鈴木源也くんからあいさつした後、石田町長から託された親書をプロウト



ギャラハーコミュニティボード議長（左）とプロウトン町長



ン町長とギャラハーコミュニティボード議長に手渡し、鈴木くんのミッションが終了！しかし、湧別町から送るはずだった記念品の「招き猫」が郵送中、壊れてしまったことを伝えると、ギャラハーコミュニティボード議長もプロウトン町長も「気にしないで欲しい。」と言ってくださいました。

あいさつの後は、用意していただいた軽食をご馳走になり、プロウトン町長が生徒たちのそばにいき、質問する様子もありました。

セルウィン町側が緊急事態の最中の訪問であったこともあって、こちらから「よさこいと、町の紹介をキャンセルしては」と申し出をしたところですが、プロウトン町長は「友好交流している町がどのようなところなのか知りたい」と話してください、予定通り披露！プロウトン町長は昨年就任されたばかりのため、うまく湧別町をイメージしてもらえるのか不安もありましたが、ギャラハーリー議長とともに、パフォーマンスする生徒たちの様子を温かく見守り聞き入ってください、3年前に湧別町を訪問したギャラハーリー議長は「湧別町を懐かしく思う」と話してくれ、毛利委員、佐藤さん、野田さんたちの掛け声も、場を盛り上げてくれました。

この表敬訪問には、プロウトン町長とギャラハーリー議長のほか、マルコム副町長とティビット首席事務官も同席いただき、生徒たちが友好大使を務める貴重な時間となったようです。災害が発生している中、湧別町の一行のために、時間を割いてくださったセルウィン町の方々に対し感謝です。ただ、生徒たちの態度が残念だったのが、悔やまれます。



◆12:25 クライストチャーチ・ダウンタウンを見学

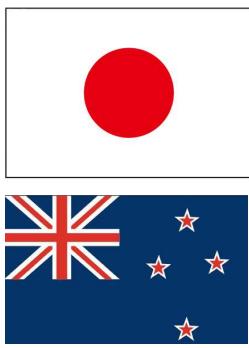
表敬訪問を終え、ニュージーランド南島の中心都市、クライストチャーチへ向かいました。クライストチャーチは、6年前の2月22日、大地震に襲われ日本人を含めたたくさんの方々が犠牲になっています。今でも被災した市内中心地には爪あとが残っていて、町のシンボルであった「カテドラル大聖堂」は崩れ落ちたままになっています。生徒たちは車窓からでしたが再建しようとする街の復興計画や変化していく街の様子をコリンさんやすみ先生から教えてもらい、実際にカテドラルの被害を目の当たりにしました。被災前の街の様子を知っているものとしては複雑な心境になってしまいました。



◆15:15 DHS 下校

市内見学から学校へ戻ると、早速、下校。今日は、表敬訪問、市内見学、そして自由行動と、湧別の生徒だけで行動したので、少し英語から解放された感じでしたが、表敬訪問での振る舞いに対し、お説教があったこともお伝えしておきます。

明日（2/15）はダーフィールドハイスクールでの最後の日。E S O L にバディとの授業、そしてさよならパーティーです。今宵はホストへ感謝の気持ちを伝えるため、知恵を絞ってスピーチを考えているのではないでしょうか、それにしても時間が経つのは早いですね。



Report

第7号 2017/2/16

2月15日（水） 予想最高気温は22度、予想最低気温は8度 快晴！

今日も天気がいい！ですが、クライストチャーチの山火事は未だ終息せず、朝のニュースでは消火活動にあたっていたヘリコプターが墜落するなど、被害が拡大しているようです。

またこの1週間、ニュージーランドでは海岸線に数百頭のイルカが打ち上げられるなど、大きな事故や事件がありました。

今日は登校最終日、ダーフィールドに来てから9日目、国際課スタッフルームの前で待っていると、いつものようにバディとともに登校してくる生徒たち。

天気が良い中、黒岩団長、毛利委員、佐藤さんと野田さんは、クライストチャーチの市内見学に出かけました。生徒たちから「いいなあ」の声… その大人たちは、クライストチャーチ市内でトラムに乗り、震災の跡地や被害のなかった商店街、コンテナで復興を進めている地区など、町の様子を見学し、その後は湧別町出身でクライストチャーチで美容師をしている方に会って、故郷、湧別町の話に花を咲かせました。



tram (路面電車)



火事発生の危険度を表す看板

◆9:00 ESOLの授業

1、2時間目はロジャー先生の英語の授業。ロジャー先生は滞在中、一番多く時間を割いてくれた授業。先生からホームワークを返してもらうと、赤ペンでチェックが入っていて、生徒たちは「めっちゃ直されている」と苦笑。

授業の終わりには、生徒たちからお礼のプレゼントを渡し、ロジャー先生から「See you again」を日本語では何と言うの聞かれ、みんなで「また会いましょう！」と答えました。

ESOLの後は、バディとともにモーニングティーの時間を楽しみ、3、4時間目はバディと一緒に授業に参加しました。こちらは普通に授業を受けるため、生徒たちには少し難しい授業だったようです。



ランチの様子



ダーフィールドハイスクールの正門前で

◆14:15 さよならパーティーの準備

昼食後は、さよならパーティーの流れと、お礼のスピーチ、「よさこい」と「盆踊り」を練習。最後のパフォーマンスになるため、丁寧にそれぞれの役割を確認していました。

◆15:15 ホストとともに帰宅

ダーフィールドハイスクールでの授業も今日で終わり、あっという間の時間でした。生徒たちから「もう終わっちゃう」、「帰りたくない」、「早すぎる」などなど名残惜しい言葉が…スクールバスに乗るのも最後、ホストとともに家路に着きました。

◆18:30 さよならパーティー

ダーフィールドハイスクールでの最後の夜には、恒例のさよならパーティー！ 開会時間が近づくにつれ、ホストとともに会場に生徒たちがやってきました。

パーティーが始まると、ジェームス校長先生は「湧別町から生徒を受け入れられてとても良かった。」、「湧別町の生徒は特別な存在なので、これからもたくさんの生徒にダーフィールドへ来てもらいたい。」と話され、一人ひとりに修了証書を手渡してくださいました。その後には生徒たちからホストへお世話になった気持ちを込めてあいさつ。あいさつの途中、感極まる生徒もいて、本当の家族のように接してくれた、ホストのホスピタリーを感じた瞬間でした。

ダーフィールドハイスクールのスタッフやホストが用意してくれた食事を食べながら、しばしの歓談。歓談に続いて、ホストに湧別町を知ってもらいたいと、急遽、さよならパーティーでは予定に無かった「町の紹介」をプレゼン！ ホストの皆さんに、サロマ湖やチューリップ公園などの観光名所、サロマ湖 100km マラソンやクロスカントリースキー大会などのイベント、チューピットや産業レンジャーなどのキャラクターと、湧別のアピールポイントを伝える良い機会となりました。

プレゼンに続いて、「よさこい」を披露。法被をまとい、内野漁業部さんから寄贈していただいた大漁旗を振って毛利委員、佐藤さん、野田さんが大きな掛け声をかけてくれる中、踊り切りました。ホストやスタッフから大きな拍手と声援が送られました。出発式よりは元気に踊れたような気がします（笑）「よさこい」に続いては、ホストも一緒に盆踊りを踊り、会場は大変盛り上がりしました。

時は刻々と流れ、さよならパーティーもファイナル、最後は全員で記念写真を撮影して、パーティーは終了。ダーフィールドハイスクールの皆さん、ホストの皆さん、ありがとうございました。 いよいよ、明日の朝、出発となります。



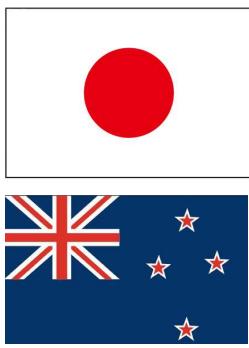


さよならパーティで



ホストの皆さん、お世話になりました!!





Kiwi Report

第8号 2017/2/17

2月16日（木）

午前7時半、ホストの車で生徒たちが続々と到着してきました。いよいよダーフィールドとお別れです。ジェームス校長先生、すみ先生、ホストのみなさん、10日間の滞在中、お世話になりました！コリンさんのバスに乗り込み、クライストチャーチ空港へ向けて出発。

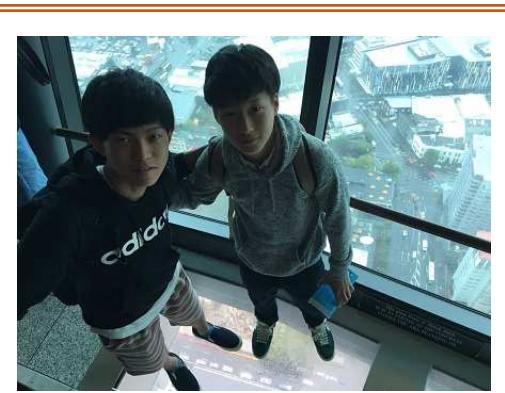
空港に到着し、すみ先生とコリンさんにお手伝いしてもらいながら搭乗手続きをします。しかし、その前のスーツケースの重量チェックで大人3人が重量オーバー。最高は26キロで、生徒たちのスーツケースに入れてもらい何とかクリアしました。頂いたお土産がとても重い。セキュリティチェックを受けるため、すみ先生とはここでお別れ！
ビッグハグで再会を誓いました！

オークランド空港に到着すると、あいにくの雨。ガイドさんの話によると、ここ2、3日は雨とか。クライストチャーチにこの雨が降れば、山火事もおさまるのにと思う私たちでした。

ダーフィールドののどかな景色とは違う、2階建ての住宅や、中心地に進むにつれ高層の建物が立ち並ぶニュージーランドの最大の都市、オークランドをバスに乗り、まずは昼食会場へ向かいます。ここで、この旅、2回目のハプニング！レストランに到着すると、なぜか店の玄関には CLOSE の文字（≥▽≤）ガイドさんが慌てて連絡を取るも、閉店！急きょ場所を変更することとなりました。



無事に食事を終え、午後からは南半球最大のタワー、スカイタワーへ。展望デッキに着くと、あいにくの天気のため、眺めが悪かったのですが、時たま途切れる雲の隙間からオークランド市内を見ることができました。展望デッキは、風の影響でグラグラと揺れを感じ、菜々子が少し酔った様子。さらには恭吾の高所恐怖症がバレてしまい…、腰が引けた恭吾を源也がイジり周囲の笑いを誘っていました。次はオークランド博物館です！



午後3時過ぎ、オークランド博物館に到着、ガイドさんの案内で館内を見学。ガイドさん曰く、見どころは先住民マオリ族の戦闘用力ヌー。木を加工する技術を持っていないマオリ族は、一本の木で巨大な力ヌーを作り上げたとか、中には数十人が乗れたものもあったようです。また第1次、第2次世界大戦で戦死した兵士を弔うための展示もありました。一般参加の佐藤さんや野田さんは熱心に見学していましたが、生徒たちには少し難しかったかもしれません。

午後4時過ぎ、つかの間のショッピングタイムを楽しみ、夕食を終え、ニュージーランドでの最後の夜を過ごしました。

今日は久しぶりに湯船に浸かり、これまでの10日間を懐かしく思える時間になりそうです。でも、明日の朝は6時半にはホテルを出発！夕方には東京に到着します。



ランチを楽しむ女子



夕食は中華！